

積した泥などの残る上保内地区を中心に、ボランティアが活躍。

三重県菟野(こもの)

町の石原正敬町長も来条して上保内地区で復旧支援作業を行ったほか、富山県高岡市、新潟県庁の職員らもボランティアとして作業した。

三条市災害ボランティアセンターによると、きのう二十八日に活動したボランティアは合計六十三人で、う



は北五百川などで曜日指定のニーズが残るものの、二十八日はニーズがなかったため活動を休止した。上保内地区では、側溝に

初代王者の栄冠めざし

10月の決勝大会へ向け熱戦、ロボコン全国大会燕三条予選

小学三年から六年生までが、自作した手づくりロボットで競技を行う「ロボコンジャパンカップ」の燕三条予選大会が、きのう二十八日に三条商工会議所チェンバースホールで開かれ、八十人ほどの参加者が創意工夫を凝らしたロボットで、タイムを競った。



を身に付けた人たちがいて、ねいに泥を取り除いていた。三重県菟野町は、豪雨災

な。なお、三条市災害ボランティアセンターでは、今ムページ <http://ssc.teikyo.ac.jp/> を継続する見込み。ボランティア希望者は、ホームページ <http://ssc.teikyo.ac.jp/>

長が発足して第一回全国大会と銘打ち、七月から県央地域や新潟市、長岡市でロボット作成教室や予選会を行っている。

床暖房やパネルコンベクターなどシステム暖房の熱源として利用する石油暖房ボイラ。新商品では、従来の「大きい」「重い」といったイメージを払しょくし、設置施工性の向上と作業の効率化を図った。

「大きい

予選大会は、二十七日に新潟、二十八日に燕三条、九月四日(日)の長岡の三会場に加えて、五月に東日本大震災の復興イベントが開かれた福島県会津若松市でも開催して、福島県から四人が決勝大会に進む運びとなっている。

個人競技のコースは、スラローム、坂道、クランク状のシーソー路が設定され、制限時間の三分以内にコースを走るばかりか、ロボットのバケットにピンボールを入れて容器に移すという作業も行わなければならない。二回コースを走って良いタイムで決勝大会進出を争い、中には一回目から一分三十秒を切る好タイムをマークする参加者も。

スタート直後のスラローム、ゴール間際のクランク

さわやかトローケ

私はたまたま大学で教職課程を取っていたから、うっすらと覚えていたが、すでに忘れた人も多いかもしれない。冥王星が惑星の仲間から外れ、学校の理科の教科書から消えて七年が経つ。

で冥王星より大きな天体が発見され、さらに惑星の定義を定めたところそこから「準惑星」に格下げされてしまった。今では、学校の理科の先生の授業中の余談としてポピュラーなものだとか。

冥王星が惑星に復帰？ 定義論争再燃で

天体望遠鏡をはじめとする観測技術の発達で、そのサイズや組成、公転軌道から「どうも惑星ではないらしいのでは」という議論が起こり、カイパーベルト上

民の誇りだったそうで反発がすごかったそう。そういうえば、マンガ・鉄腕アトムのカラクター「ブルーのトウ」もやはり、この星の名前がモチーフなのだろうか？少し気になる。かつてのように「太陽系

第九惑星」といった仰々しい肩書で教科書に載るのはさすがに無理なようだが、この冥王星が、再び惑星に返り咲くかもしれないらしい。観測技術のさらなる発達で、再び、惑星の定義についての議論が学会でも再燃しているためだ。

「ロボコンを通じてものづくりの喜びを感じてもらいたい」と、二〇〇六年から昨年までの過去五回、(社)燕三条青年会議所が中心となつて開催して述べ五百人の小学生が参加。今年、特定非営利活動法人ロボコンジャパン(丸山光博理事

決勝大会は、十月八日(日)午前十時から、三条商工会議所一階チェンバースホールで行われる予定。



決勝大会は、十月八日(日)午前十時から、三条商工会議所一階チェンバースホールで行われる予定。(丸山)